

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 京都府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	洛南病院	2
-	与謝の海病院	3
福知山市	福知山市民病院	4
福知山市	福知山市民病院 大江分院	5
舞鶴市	舞鶴市民病院	6
綾部市	綾部市立病院	7
亀岡市	亀岡市立病院	8
京丹後市	京丹後市立弥栄病院	9
京丹後市	京丹後市立久美浜病院	10
精華町	国保病院	11
京丹波町	国保京丹波町病院	12
国民健康保険南丹病院組合	京都中部総合医療センター	13
国民健康保険山城病院組合	京都山城総合医療センター	14

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名					
病院名		洛南病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,227 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	256	47.6	46.4	45.4
感染症	-	-	-	-
計	256	47.6	46.4	45.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,578,087	
決算規模(千円)	1,037,555,668	
標準財政規模(千円)	554,905,110	
財政力指数	0.58058	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	257.2

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,653,638				
1 経常収益	2,642,810				
(1) 医業収益	1,658,356				
(うち修正医業収益)	1,621,924				
入院収益	1,294,119				
外来収益	322,691				
診療収入計	1,616,810				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	41,546				
(うち他会計負担金)	36,432				
(2) 医業外収益	984,454				
(うち国・都道府県補助金)	626				
(うち他会計補助・負担金)	971,929				
(うち長期前受金戻入)	3,842				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	10,828				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,642,008				
2 経常費用	2,641,380				
(1) 医業費用	2,567,199				
職員給与費	1,864,444	112.4	60.8	108.5	
材料費	190,386	11.5	27.1	9.4	
(うち薬品費)	142,767	8.6	14.8	6.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,585	0.5	11.8	1.4	
減価償却費	80,194	4.8	8.6	12.6	
経費	426,382	25.7	22.0	34.8	
(うち委託料)	208,773	12.6	11.8	15.4	
研究研修費	5,568				
資産減耗費	225				
(2) 医業外費用	74,181				
(うち支払利息)	7,948	0.5	0.9	2.1	
(3) 特別損失	628				
経常損益	1,430				
純損益	11,630				
累積欠損金	3,719,293				
経常収支比率	100.1		93.0	95.5	
医業収支比率	64.6		83.9	60.3	
修正医業収支比率	63.2		81.0	57.7	
他会計繰入金対経常収益比率	38.2		12.2	35.6	
他会計繰入金対医業収益比率	60.8		14.3	58.4	
他会計繰入金対総収益比率	38.0		12.3	35.3	
実質収益対経常費用比率	61.9		81.6	61.5	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,595,641
1 固定資産	3,601,992
(1) 有形固定資産	3,446,299
(2) 無形固定資産	726
(3) 投資その他の資産	154,967
2 流動資産	2,993,649
(1) 現金及び預金	2,446,200
(2) 未収金及び未収収益	393,368
(3) 貸倒引当金()	121
(4) 貯蔵品	8,921
3 繰延資産	-
負債合計	2,839,595
1 固定負債	1,796,461
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,763,461
(2) その他の企業債	28,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	897,986
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	88,755
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	123,960
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	672,143
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	145,148
(1) 長期前受金	295,023
(2) 長期前受金収益化累計額()	149,875
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,756,046
1 本金	7,471,286
2 剰余金	-3,715,240
(1) 資本剰余金	4,053
(2) 利益剰余金	-3,719,293
負債・資本合計	6,595,641
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,008,361	1,008,361
資本勘定繰入	-	-
計	1,008,361	1,008,361

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	224.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名			
病院名	与謝の海病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,578,087	
決算規模(千円)	1,037,555,668	
標準財政規模(千円)	554,905,110	
財政力指数	0.58058	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	257.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,485			
1 経常収益	1,485			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,485			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,485			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,485			
2 経常費用	1,485			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	66.2
材料費	-	-	27.1	21.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	-	-	8.6	9.5
経費	-	-	22.0	28.6
(うち委託料)	-	-	11.8	14.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,485			
(うち支払利息)	1,485	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	89.9
医業収支比率	-		83.9	79.3
修正医業収支比率	-		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	-		81.6	77.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	987	1,485
資本勘定繰入	4,622	6,934
計	5,609	8,419

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	224.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	福知山市		
病院名	福知山市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	32,284 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が感へ災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	344	89.1	85.5	88.1
療養	-	-	-	-
結核	5	10.1	23.0	45.6
精神	-	-	-	-
感染症	4	63.2	55.9	67.3
計	353	87.6	84.1	87.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.4	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	77,306	
決算規模(千円)	49,599,046	
標準財政規模(千円)	25,290,991	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	28.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,097,084			
1 経常収益	15,923,615			
(1) 医業収益	14,820,829			
(うち修正医業収益)	14,620,323			
入院収益	8,802,227			
外来収益	5,200,785			
診療収入計	14,003,012			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	817,817			
(うち他会計負担金)	200,506			
(2) 医業外収益	1,102,786			
(うち国・都道府県補助金)	61,772			
(うち他会計補助・負担金)	491,703			
(うち長期前受金戻入)	479,418			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	173,469			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,190,196			
2 経常費用	16,125,675			
(1) 医業費用	15,108,939			
職員給与費	6,732,095	45.4	60.8	61.3
材料費	4,592,047	31.0	27.1	26.2
(うち薬品費)	3,117,167	21.0	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,474,880	10.0	11.8	11.2
減価償却費	903,930	6.1	8.6	8.5
経費	2,815,408	19.0	22.0	21.8
(うち委託料)	1,228,073	8.3	11.8	11.9
研究研修費	59,321			
資産減耗費	6,138			
(2) 医業外費用	1,016,736			
(うち支払利息)	112,663	0.8	0.9	0.9
(3) 特別損失	64,521			
経常損益	-202,060			
純損益	-93,112			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.7		93.0	92.2
医業収支比率	98.1		83.9	84.6
修正医業収支比率	96.8		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.3		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	4.7		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	4.3		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	94.5		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	26,538,050
1 固定資産	16,456,156
(1) 有形固定資産	15,308,165
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,147,991
2 流動資産	10,081,894
(1) 現金及び預金	7,505,698
(2) 未収金及び未収収益	2,538,636
(3) 貸倒引当金()	5,488
(4) 貯蔵品	41,270
3 繰延資産	-
負債合計	12,878,330
1 固定負債	8,217,145
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,539,918
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,677,227
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,260,151
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,129,712
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	549,319
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,519,690
(9) 前受金及び前受収益	227
3 繰延収益	1,401,034
(1) 長期前受金	7,360,998
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,959,964
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	13,659,720
1 本金	5,173,681
2 剰余金	8,486,039
(1) 資本剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	1,105,843
負債・資本合計	26,538,050
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,084,799	692,209
資本勘定繰入	1,147,783	565,996
計	2,232,582	1,258,205

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	福知山市				
病院名	福知山市民病院 大江分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,240 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	52	92.4	85.6	88.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	92.4	85.6	88.3
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	77,306	
決算規模(千円)	49,599,046	
標準財政規模(千円)	25,290,991	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	28.3

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	742,887				
1 経常収益	742,887				
(1) 医業収益	600,327				
(うち修正医業収益)	600,327				
入院収益	461,116				
外来収益	120,170				
診療収入計	581,286				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	19,041				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	142,560				
(うち国・都道府県補助金)	2,096				
(うち他会計補助・負担金)	72,841				
(うち長期前受金戻入)	35,700				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	706,507				
2 経常費用	705,161				
(1) 医業費用	643,498				
職員給与費	438,065	73.0	60.8	82.0	
材料費	29,922	5.0	27.1	14.2	
(うち薬品費)	21,511	3.6	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,411	1.4	11.8	6.1	
減価償却費	40,638	6.8	8.6	12.5	
経費	133,773	22.3	22.0	34.4	
(うち委託料)	54,094	9.0	11.8	16.9	
研究研修費	1,020				
資産減耗費	80				
(2) 医業外費用	61,663				
(うち支払利息)	2,271	0.4	0.9	1.2	
(3) 特別損失	1,346				
経常損益	37,726				
純損益	36,380				
累積欠損金	-				
経常収支比率	105.3		93.0	93.1	
医業収支比率	93.3		83.9	69.6	
修正医業収支比率	93.3		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	9.8		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	95.0		81.6	68.2	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	26,538,050
1 固定資産	16,456,156
(1) 有形固定資産	15,308,165
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,147,991
2 流動資産	10,081,894
(1) 現金及び預金	7,505,698
(2) 未収金及び未収収益	2,538,636
(3) 貸倒引当金()	5,488
(4) 貯蔵品	41,270
3 繰延資産	-
負債合計	12,878,330
1 固定負債	8,217,145
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,539,918
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,677,227
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,260,151
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,129,712
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	549,319
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,519,690
(9) 前受金及び前受収益	227
3 繰延収益	1,401,034
(1) 長期前受金	7,360,998
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,959,964
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	13,659,720
1 本金	5,173,681
2 剰余金	8,486,039
(1) 資本剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	1,105,843
負債・資本合計	26,538,050
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	71,433	72,841
資本勘定繰入	18,760	34,059
計	90,193	106,900

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	舞鶴市				
病院名	舞鶴市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,671 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	へ		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	100	89.9	88.2	87.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	89.9	88.2	87.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	80,336	
決算規模(千円)	38,852,222	
標準財政規模(千円)	20,674,154	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.0
	将来負担比率(%)	70.0

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,000,042				
1 経常収益	999,543				
(1) 医業収益	689,299				
(うち修正医業収益)	689,299				
入院収益	647,314				
外来収益	29,528				
診療収入計	676,842				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	12,457				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	310,244				
(うち国・都道府県補助金)	2,598				
(うち他会計補助・負担金)	272,236				
(うち長期前受金戻入)	28,921				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	499				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,053,904				
2 経常費用	1,053,726				
(1) 医業費用	1,018,692				
職員給与費	716,382	103.9	60.8	69.3	
材料費	64,436	9.3	27.1	18.4	
(うち薬品費)	28,810	4.2	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,785	4.0	11.8	9.1	
減価償却費	72,362	10.5	8.6	10.8	
経費	160,195	23.2	22.0	29.9	
(うち委託料)	87,704	12.7	11.8	13.7	
研究研修費	4,398				
資産減耗費	919				
(2) 医業外費用	35,034				
(うち支払利息)	10,775	1.6	0.9	1.0	
(3) 特別損失	178				
損益	-54,183				
純損益	-53,862				
累積欠損金	127,112				
経常収支比率	94.9		93.0	91.6	
医業収支比率	67.7		83.9	77.4	
修正医業収支比率	67.7		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	27.2		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	39.5		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	27.2		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	69.0		81.6	75.4	

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,322,924
1 固定資産	1,598,575
(1) 有形固定資産	1,571,418
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	27,157
2 流動資産	724,349
(1) 現金及び預金	591,488
(2) 未収金及び未収収益	131,894
(3) 貸倒引当金()	983
(4) 貯蔵品	1,950
3 繰延資産	-
負債合計	1,380,393
1 固定負債	1,026,150
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	873,603
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	150,934
(6) リース債務	1,613
2 流動負債	199,551
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,963
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,000
(6) リース債務	1,275
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	99,621
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	154,692
(1) 長期前受金	437,396
(2) 長期前受金収益化累計額()	282,704
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	942,531
1 資本金	789,561
2 剰余金	152,970
(1) 資本剰余金	280,082
(2) 利益剰余金	-127,112
負債・資本合計	2,322,924
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	272,236	272,236
資本勘定繰入	39,694	39,694
計	311,930	311,930

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	綾部市				
病院名	綾部市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	17,662 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	206	76.4	71.0	66.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	206	76.4	71.0	66.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	15.7	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	31,846	
決算規模(千円)	20,280,376	
標準財政規模(千円)	10,393,602	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	87.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,353,311			
1 経常収益	6,353,311			
(1) 医業収益	6,003,905			
(うち修正医業収益)	5,938,365			
入院収益	2,995,444			
外来収益	2,768,313			
診療収入計	5,763,757			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	240,148			
(うち他会計負担金)	65,540			
(2) 医業外収益	349,406			
(うち国・都道府県補助金)	14,247			
(うち他会計補助・負担金)	209,902			
(うち長期前受金戻入)	63,486			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,704,744			
2 経常費用	6,680,472			
(1) 医業費用	6,565,882			
職員給与費	18,290	0.3	60.8	66.2
材料費	-	-	27.1	21.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	412,642	6.9	8.6	9.5
経費	6,126,021	102.0	22.0	28.6
(うち委託料)	2,660	-	11.8	14.4
研究研修費	-			
資産減耗費	8,929			
(2) 医業外費用	114,590			
(うち支払利息)	22,827	0.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	24,272			
経常損益	-327,161			
純損益	-351,433			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.1		93.0	89.9
医業収支比率	91.4		83.9	79.3
修正医業収支比率	90.4		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	4.3		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	4.6		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	4.3		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	91.0		81.6	77.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,708,782
1 固定資産	5,785,780
(1) 有形固定資産	5,223,351
(2) 無形固定資産	1,159
(3) 投資その他の資産	561,270
2 流動資産	1,923,002
(1) 現金及び預金	704,920
(2) 未収金及び未収収益	1,249,842
(3) 貸倒引当金()	31,769
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,790,163
1 固定負債	1,471,280
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,471,280
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	601,645
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	250,528
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,280
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	343,837
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	717,238
(1) 長期前受金	1,664,888
(2) 長期前受金収益化累計額()	947,650
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,918,619
1 資本金	3,218,460
2 剰余金	1,700,159
(1) 資本剰余金	159,297
(2) 利益剰余金	1,540,862
負債・資本合計	7,708,782
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	437,953	275,442
資本勘定繰入	142,345	61,470
計	580,298	336,912

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	亀岡市		
病院名	亀岡市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,947 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	15	指定病院の状況	救
許可公営企業	許可	看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	100	75.8	75.4	68.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	75.8	75.4	68.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	15.1	14.5

設立団体の状況		
人口(人)	86,174	
決算規模(千円)	46,745,770	
標準財政規模(千円)	20,513,928	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	60.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,359,652			
1 経常収益	3,359,652			
(1) 医業収益	2,846,541			
(うち修正医業収益)	2,634,324			
入院収益	1,817,627			
外来収益	762,319			
診療収入計	2,579,946			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	266,595			
(うち他会計負担金)	212,217			
(2) 医業外収益	513,111			
(うち国・都道府県補助金)	554			
(うち他会計補助・負担金)	350,948			
(うち長期前受金戻入)	15,590			
(うち資本費繰入収益)	116,835			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,502,993			
2 経常費用	3,486,340			
(1) 医業費用	3,293,128			
職員給与費	1,644,556	57.8	60.8	69.3
材料費	964,047	33.9	27.1	18.4
(うち薬品費)	199,204	7.0	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	764,843	26.9	11.8	9.1
減価償却費	174,760	6.1	8.6	10.8
経費	502,730	17.7	22.0	29.9
(うち委託料)	305,646	10.7	11.8	13.7
研究研修費	1,840			
資産減耗費	5,195			
(2) 医業外費用	193,212			
(うち支払利息)	30,760	1.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	16,653			
経常損益	-126,688			
純損益	-143,341			
累積欠損金	529,219			
経常収支比率	96.4		93.0	91.6
医業収支比率	86.4		83.9	77.4
修正医業収支比率	80.0		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.8		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	19.8		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	16.8		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	80.2		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,020,403
1 固定資産	2,400,609
(1) 有形固定資産	2,400,609
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	619,794
(1) 現金及び預金	86,616
(2) 未収金及び未収収益	508,802
(3) 貸倒引当金()	622
(4) 貯蔵品	24,998
3 繰延資産	-
負債合計	3,193,629
1 固定負債	1,802,440
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,677,919
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	124,521
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,226,021
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	254,873
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	77,252
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	592,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	165,168
(1) 長期前受金	299,345
(2) 長期前受金収益化累計額()	134,177
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-173,226
1 資本金	355,993
2 剰余金	-529,219
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-529,219
負債・資本合計	3,020,403
不良債務	351,354
実質資金不足額	351,354
資本不足額()	173,226
資本不足額(繰延収益控除後)()	8,058

備考

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	563,165	563,165
資本勘定繰入	116,835	119,835
計	680,000	683,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	351,354	12.3
令和5年度	12,638	0.4
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.6
健全化法上の資金不足額(千円)	351,354
健全化法上の資金不足比率(%)	12.2
地財法上の資金不足額(千円)	351,354
地財法上の資金不足比率(%)	12.2

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	京丹後市		
病院名	京丹後市立弥栄病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	15,714 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	19	指定病院の状況	救臨へ
許可公営企業	許可	看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	199	67.8	70.2	67.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	67.8	70.2	67.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	18.9	16.4

設立団体の状況	
人口(人)	50,860
決算規模(千円)	42,377,174
標準財政規模(千円)	20,645,463
財政力指数	0.29
経常収支比率(%)	96.4
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	13.1
将来負担比率(%)	126.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,642,083			
1 経常収益	3,630,008			
(1) 医業収益	3,074,260			
(うち修正医業収益)	2,795,292			
入院収益	1,692,005			
外来収益	916,177			
診療収入計	2,608,182			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	466,078			
(うち他会計負担金)	278,968			
(2) 医業外収益	555,748			
(うち国・都道府県補助金)	22,861			
(うち他会計補助・負担金)	288,192			
(うち長期前受金戻入)	215,972			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,075			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,197,995			
2 経常費用	4,196,795			
(1) 医業費用	4,026,403			
職員給与費	2,035,856	66.2	60.8	69.3
材料費	564,025	18.3	27.1	18.4
(うち薬品費)	224,219	7.3	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	309,374	10.1	11.8	9.1
減価償却費	391,270	12.7	8.6	10.8
経費	997,413	32.4	22.0	29.9
(うち委託料)	312,282	10.2	11.8	13.7
研究研修費	12,096			
資産減耗費	25,743			
(2) 医業外費用	170,392			
(うち支払利息)	31,153	1.0	0.9	1.0
(3) 特別損失	1,200			
経常損益	-566,787			
純損益	-555,912			
累積欠損金	2,839,221			
経常収支比率	86.5		93.0	91.6
医業収支比率	76.4		83.9	77.4
修正医業収支比率	69.4		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.6		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	18.4		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	15.6		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	73.0		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,939,128
1 固定資産	7,575,216
(1) 有形固定資産	7,132,504
(2) 無形固定資産	1,231
(3) 投資その他の資産	441,481
2 流動資産	1,363,912
(1) 現金及び預金	556,478
(2) 未収金及び未収収益	813,636
(3) 貸倒引当金()	37,315
(4) 貯蔵品	31,031
3 繰延資産	-
負債合計	9,645,776
1 固定負債	6,051,452
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,865,248
(2) その他の企業債	186,204
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,366,354
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	527,001
(2) その他の企業債	27,208
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	259,851
(6) リース債務	1,055
(7) 一時借入金	810,000
(8) 未払金及び未払費用	722,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,227,970
(1) 長期前受金	5,498,412
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,270,442
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-706,648
1 本金	1,449,347
2 剰余金	-2,155,995
(1) 資本剰余金	2,455,451
(2) 利益剰余金	-4,611,446
負債・資本合計	8,939,128
不良債務	475,441
実質資金不足額	475,441
資本不足額()	706,648
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	541,565	567,160
資本勘定繰入	150,929	201,268
計	692,494	768,428

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	475,441	8.3
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	80.1
健全化法上の資金不足額(千円)	448,233
健全化法上の資金不足比率(%)	7.7
地財法上の資金不足額(千円)	661,645
地財法上の資金不足比率(%)	11.4

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	京丹後市		
病院名	京丹後市立久美浜病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	9,602 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 へ
許可公営企業	許可	看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	110	79.5	79.2	71.3
療養	60	89.1	86.5	74.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	82.9	81.8	72.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	16.3	16.7

設立団体の状況	
人口(人)	50,860
決算規模(千円)	42,377,174
標準財政規模(千円)	20,645,463
財政力指数	0.29
経常収支比率(%)	96.4
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	13.1
将来負担比率(%)	126.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,078,311			
1 経常収益	3,036,771			
(1) 医業収益	2,685,984			
(うち修正医業収益)	2,451,465			
入院収益	1,564,068			
外来収益	819,038			
診療収入計	2,383,106			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	302,878			
(うち他会計負担金)	234,519			
(2) 医業外収益	350,787			
(うち国・都道府県補助金)	25,497			
(うち他会計補助・負担金)	204,790			
(うち長期前受金戻入)	92,426			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	41,540			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,210,129			
2 経常費用	3,208,235			
(1) 医業費用	3,100,738			
職員給与費	1,969,686	73.3	60.8	69.3
材料費	349,274	13.0	27.1	18.4
(うち薬品費)	135,202	5.0	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	165,005	6.1	11.8	9.1
減価償却費	154,733	5.8	8.6	10.8
経費	611,487	22.8	22.0	29.9
(うち委託料)	306,343	11.4	11.8	13.7
研究研修費	14,049			
資産減耗費	1,509			
(2) 医業外費用	107,497			
(うち支払利息)	6,925	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	1,894			
経常損益	-171,464			
純損益	-131,818			
累積欠損金	1,772,225			
経常収支比率	94.7		93.0	91.6
医業収支比率	86.6		83.9	77.4
修正医業収支比率	79.1		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.5		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	16.4		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	14.3		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	81.0		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,939,128
1 固定資産	7,575,216
(1) 有形固定資産	7,132,504
(2) 無形固定資産	1,231
(3) 投資その他の資産	441,481
2 流動資産	1,363,912
(1) 現金及び預金	556,478
(2) 未収金及び未収収益	813,636
(3) 貸倒引当金()	37,315
(4) 貯蔵品	31,031
3 繰延資産	-
負債合計	9,645,776
1 固定負債	6,051,452
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,865,248
(2) その他の企業債	186,204
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,366,354
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	527,001
(2) その他の企業債	27,208
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	259,851
(6) リース債務	1,055
(7) 一時借入金	810,000
(8) 未払金及び未払費用	722,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,227,970
(1) 長期前受金	5,498,412
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,270,442
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-706,648
1 本金	1,449,347
2 剰余金	-2,155,995
(1) 資本剰余金	2,455,451
(2) 利益剰余金	-4,611,446
負債・資本合計	8,939,128
不良債務	475,441
実質資金不足額	475,441
資本不足額()	706,648
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	470,185	439,309
資本勘定繰入	61,679	147,632
計	531,864	586,941

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	475,441	8.3
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	80.1
健全化法上の資金不足額(千円)	448,233
健全化法上の資金不足比率(%)	7.7
地財法上の資金不足額(千円)	661,645
地財法上の資金不足比率(%)	11.4

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	精華町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	2,910 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	50	93.2	86.4	86.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	93.2	86.4	86.6
平均在院日数(一般病床のみ)		51.5	43.8	44.0

設立団体の状況		
人口(人)	36,198	
決算規模(千円)	16,260,004	
標準財政規模(千円)	9,463,015	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	28.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	29,397			
1 経常収益	29,397			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	29,397			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	9,925			
(うち長期前受金戻入)	18,536			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	39,121			
2 経常費用	39,121			
(1) 医業費用	39,048			
職員給与費	8,854	-	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	28,012	-	8.6	12.5
経費	1,963	-	22.0	34.4
(うち委託料)	1,092	-	11.8	16.9
研究研修費	-			
資産減耗費	219			
(2) 医業外費用	73			
(うち支払利息)	73	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-9,724			
純損益	-9,724			
累積欠損金	-			
経常収支比率	75.1		93.0	93.1
医業収支比率	-		83.9	69.6
修正医業収支比率	-		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	33.8		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	33.8		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	49.8		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	456,542
1 固定資産	444,368
(1) 有形固定資産	442,730
(2) 無形固定資産	1,638
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	12,174
(1) 現金及び預金	10,803
(2) 未収金及び未収収益	1,371
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	285,722
1 固定負債	33,600
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,600
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,197
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	826
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,371
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	249,925
(1) 長期前受金	791,371
(2) 長期前受金収益化累計額()	541,446
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	170,820
1 資本金	77,450
2 剰余金	93,370
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	93,370
負債・資本合計	456,542
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	300	9,925
資本勘定繰入	618	1,236
計	918	11,161

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	京丹波町				
病院名	国保京丹波町病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,436 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	47	57.6	54.5	55.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	47	57.6	54.5	55.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	13.3	21.3

設立団体の状況		
人口(人)	12,907	
決算規模(千円)	12,199,521	
標準財政規模(千円)	6,816,403	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	58.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	981,515			
1 経常収益	981,515			
(1) 医業収益	668,979			
(うち修正医業収益)	634,382			
入院収益	290,296			
外来収益	280,883			
診療収入計	571,179			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	97,800			
(うち他会計負担金)	34,597			
(2) 医業外収益	312,536			
(うち国・都道府県補助金)	20,162			
(うち他会計補助・負担金)	256,066			
(うち長期前受金戻入)	16,438			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,005,331			
2 経常費用	1,005,331			
(1) 医業費用	970,645			
職員給与費	637,702	95.3	60.8	92.5
材料費	64,002	9.6	27.1	14.2
(うち薬品費)	40,006	6.0	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,832	2.5	11.8	5.8
減価償却費	65,037	9.7	8.6	13.4
経費	197,104	29.5	22.0	47.6
(うち委託料)	122,333	18.3	11.8	23.6
研究研修費	602			
資産減耗費	6,198			
(2) 医業外費用	34,686			
(うち支払利息)	5,439	0.8	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-23,816			
純損益	-23,816			
累積欠損金	342,724			
経常収支比率	97.6		93.0	95.6
医業収支比率	68.9		83.9	59.3
修正医業収支比率	65.4		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	29.6		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	43.4		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	29.6		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	68.7		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,024,908
1 固定資産	1,474,445
(1) 有形固定資産	1,437,281
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	37,164
2 流動資産	550,463
(1) 現金及び預金	429,210
(2) 未収金及び未収収益	118,650
(3) 貸倒引当金()	2,574
(4) 貯蔵品	5,177
3 繰延資産	-
負債合計	740,670
1 固定負債	387,666
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	387,666
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	151,482
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,291
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	37,410
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	55,781
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	201,522
(1) 長期前受金	408,656
(2) 長期前受金収益化累計額()	207,134
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,284,238
1 資本金	1,584,719
2 剰余金	-300,481
(1) 資本剰余金	36,553
(2) 利益剰余金	-337,034
負債・資本合計	2,024,908
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	288,652	290,663
資本勘定繰入	19,608	23,548
計	308,260	314,211

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	国民健康保険南丹病院組合		
病院名	京都中部総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	33,447 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感へ災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	450	72.7	70.5	71.1
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	6.0	119.4	152.6
計	464	70.6	69.4	70.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	14.5	15.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,914,213			
1 経常収益	11,914,213			
(1) 医業収益	11,056,173			
(うち修正医業収益)	10,906,173			
入院収益	7,151,009			
外来収益	3,528,971			
診療収入計	10,679,980			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	376,193			
(うち他会計負担金)	150,000			
(2) 医業外収益	858,040			
(うち国・都道府県補助金)	50,117			
(うち他会計補助・負担金)	271,964			
(うち長期前受金戻入)	49,363			
(うち資本費繰入収益)	317,662			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,909,118			
2 経常費用	12,826,323			
(1) 医業費用	12,005,437			
職員給与費	6,092,717	55.1	60.8	58.1
材料費	2,977,243	26.9	27.1	29.1
(うち薬品費)	1,500,435	13.6	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,476,808	13.4	11.8	12.7
減価償却費	527,293	4.8	8.6	8.1
経費	2,340,105	21.2	22.0	18.7
(うち委託料)	1,451,938	13.1	11.8	10.4
研究研修費	29,705			
資産減耗費	38,374			
(2) 医業外費用	820,886			
(うち支払利息)	43,586	0.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	82,795			
損益	-912,110			
純損益	-994,905			
累積欠損金	256,417			
経常収支比率	92.9		93.0	93.4
医業収支比率	92.1		83.9	87.3
修正医業収支比率	90.8		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	3.5		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	3.8		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	3.5		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	89.6		81.6	84.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	16,468,781
1 固定資産	11,952,958
(1) 有形固定資産	9,743,407
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	2,209,551
2 流動資産	4,515,823
(1) 現金及び預金	1,388,368
(2) 未収金及び未収収益	3,033,004
(3) 貸倒引当金()	27,032
(4) 貯蔵品	121,348
3 繰延資産	-
負債合計	7,460,474
1 固定負債	3,873,856
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,873,856
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,500,583
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	660,534
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	529,947
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,215,555
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,086,035
(1) 長期前受金	2,267,910
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,181,875
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,008,307
1 資本金	7,738,988
2 剰余金	1,269,319
(1) 資本剰余金	1,002,736
(2) 利益剰余金	266,583
負債・資本合計	16,468,781
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	745,709	421,964
資本勘定繰入	317,662	317,662
計	1,063,371	739,626

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	国民健康保険山城病院組合		
病院名	京都山城総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	25,183 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	345	70.4	68.1	71.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	10	-	-	35.5
計	355	68.4	66.1	69.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	13.4	13.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,459,350			
1 経常収益	8,459,295			
(1) 医業収益	7,782,799			
(うち修正医業収益)	7,727,677			
入院収益	4,962,565			
外来収益	2,495,481			
診療収入計	7,458,046			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	324,753			
(うち他会計負担金)	55,122			
(2) 医業外収益	676,496			
(うち国・都道府県補助金)	34,695			
(うち他会計補助・負担金)	314,426			
(うち長期前受金戻入)	171,413			
(うち資本費繰入収益)	109,499			
(3) 特別利益	55			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,091,807			
2 経常費用	9,022,301			
(1) 医業費用	8,633,895			
職員給与費	4,473,229	57.5	60.8	61.3
材料費	2,015,514	25.9	27.1	26.2
(うち薬品費)	1,032,272	13.3	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	910,638	11.7	11.8	11.2
減価償却費	513,621	6.6	8.6	8.5
経費	1,605,190	20.6	22.0	21.8
(うち委託料)	694,968	8.9	11.8	11.9
研究研修費	19,854			
資産減耗費	6,487			
(2) 医業外費用	388,406			
(うち支払利息)	47,959	0.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	69,506			
損益	-563,006			
純損益	-632,457			
累積欠損金	861,556			
経常収支比率	93.8		93.0	92.2
医業収支比率	90.1		83.9	84.6
修正医業収支比率	89.5		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.4		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	4.7		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	4.4		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	89.7		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,452,294
1 固定資産	6,386,916
(1) 有形固定資産	6,096,308
(2) 無形固定資産	628
(3) 投資その他の資産	289,980
2 流動資産	2,065,378
(1) 現金及び預金	659,089
(2) 未収金及び未収収益	1,281,688
(3) 貸倒引当金()	973
(4) 貯蔵品	125,574
3 繰延資産	-
負債合計	5,050,887
1 固定負債	2,159,004
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,155,395
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	3,609
2 流動負債	1,435,135
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	646,744
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	311,000
(6) リース債務	1,769
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	428,412
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,456,748
(1) 長期前受金	3,411,988
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,955,240
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,401,407
1 資本金	4,262,963
2 剰余金	-861,556
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-861,556
負債・資本合計	8,452,294
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	471,874	369,548
資本勘定繰入	407,938	280,360
計	879,812	649,908

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。